

令和3年度公益財団法人静岡県文化財団事業計画

I 基本方針

静岡県文化財団は、県の「ふじのくに文化振興基本計画」を踏まえ、各種文化振興事業を推進している。令和3年度は、財団に設置した「アーツカウンシルしずおか」が本格的に活動するに当たり、総合的な文化芸術施策を推進するため、将来の部門制の導入等も視野に入れた総務課、文化事業課、貸館事業課、アーツカウンシル課の4課体制を構築する。

文化の力で心豊かな活力ある社会づくりの実現を目指し、激変する社会環境に対応できる勤務体制や給与制度の導入検討を図りながら新たな組織体制で、各種文化事業の取り組みや創造的な活動への支援を行い、「静岡県文化財団中期構想」を具体化する。また特定天井改修工事による全館休館や新型コロナウイルス感染症の影響により落ち込んだ収入について、安定して確保できるよう、積極的な営業活動などに取り組む。

なお、財団運営の最重要部分であるグランシップ指定管理事業は、令和3年度が第4期（平成29年度から5年間）指定管理期間の最終年度であることを踏まえて、これまでの成果を検証し、第5期グランシップ指定管理の計画策定を進める。

1 文化芸術の体験

- ・社会環境が大きく変化する中で、幅広く県民が文化芸術に初めて触れる場づくり「はじめての劇場しずおか」として、上質で多彩な文化芸術体験を推進する。
- ・これを実現するため、グランシップ企画事業を核として、県受託事業や財団独自事業も積極的に進め、文化芸術の体験機会の創出に取り組む。

2 創造的な活動への支援

- ・「アーツカウンシルしずおか」は、まちづくりや観光、国際交流、福祉、教育、産業など社会の様々な分野と、文化芸術との協働を促進し、社会課題への対応や、地域資源を活かした創造的な活動を支援することにより、文化芸術に関わる人の裾野を広げ、地域の活性化を目指す。
- ・主な機能として、①社会の様々な分野の担い手による創造的な活動への支援《住民主体の創造活動の推進エンジン》 ②人材育成・ネットワークづくり《多分野協働のプラットフォーム》 ③調査研究、県・市町・文化団体等への助言、政策提言《文化政策シンクタンク》の3つを担う。
- ・当面の重点テーマとして、「経済活動との連携及びブランド化への寄与」と「超高齢社会における文化芸術の役割」を据え、取り組む。

3 グランシップの貸館

- ・グランシップの貸館事業においても、静岡県文化財団中期構想を踏まえ、県民による文化芸術の創造並びに参加について支援を積極的に行っていくものとし、「学術・文化芸術への支援」と「国内外との交流促進」の二つを柱として事業を推進する。

4 グランシップの施設管理

- ・グランシップは開館後 20 年を経過し、施設、設備、備品の老朽化が進んでいるが、これらの機能を維持、改善し、大きく変化する情報通信技術に臨機応変に対応するとともに、利用者に安全・安心・快適な施設環境を提供する。

5 経営の安定化

- ・特定天井対策工事による施設の一部休館が年度途中まで続くため、収入の確保と経費の節減に努め、効率的・効果的な運営を図る。
- ・グランシップの第 5 期指定管理事業計画の策定に当たっては、効率的に施設を運営・維持するため、維持管理費や間接経費（人件費等）のコストについてゼロベースで見直し、負担の在り方を施設設置者である県とも協議していく。

6 新しい社会環境での働き方

- ・組織改正により職員数が増加することから、適切な職員管理を実施する。また、激変する社会環境に対応していくため、給与制度、職員評価制度の見直し、テレワーク導入の検討等、働き方改革を進める。

II 事業概要

1 文化芸術の体験

文化芸術の体験は、豊かな人間性を涵養し、情操や想像力を育み、心豊かな生活の糧となり、グローバル化の中で個人の自己認識の基点となり文化的な伝統を尊重する心を形成するという文化芸術の本質的価値を踏まえ、社会状況が大きく変化する中で、次世代を担う子どもを中心に地域、世代、障がいの有無に関わりなく、幅広く県民が文化芸術に初めて触れる場づくり「はじめての劇場しずおか」として、上質で多彩な文化芸術体験を推進する。

これを実現するため、初めて文化芸術に触れた誰もが感動できるよう事業の質を可能な限り担保しながら、グランシップ企画事業を核として、県受託事業や財団独自事業も積極的に進め、文化芸術の体験機会の創出に総合的に取り組む。

特に、グランシップ企画事業では、子ども・子育て世代への支援をはじめとして、音楽文化等の普及振興、伝統芸能の継承、そしてこれらを補完するものとして文芸・美術の普及・振興の 4 つの戦略目標の実現に向け、上質で多彩な鑑賞事業、県民参加型事業、教育普及事業、アウトリーチ事業に取り組む。具体的には、初めて文化芸術に触れた際に誰もが感動できるよう、事業の質をできる限り担保し、当館の独自性を高め、さらなるグランシップブランドの形成を図る。また、県内の市町や団体との積極的な事業の連携を図るため、令和 3 年 10 月からの全館リニューアルオープン後も、芸術公演が少ない地域や学校での出前公演やアウトリーチを積極的に展開する。

なお、文化芸術の体験機会の創出を総合的に推進するため、文化プログラムの環境整備事業などのその他の文化事業においては、令和 4 年度以降の取り組みを検討する。

(1) グランシップ企画事業

【戦略目標別の内訳】 ※カッコ内は再掲

戦略目標	事業本数	入場参加者数
ア 子ども・子育て世代への支援	26 事業	41,640 人
イ 音楽文化等の普及・振興	12 事業 (10 事業)	12,885 人 (6,900 人)
ウ 伝統芸能の継承	5 事業 (10 事業)	3,000 人 (2,680 人)
エ 文芸・美術等の振興	5 事業 (2 事業)	16,325 人 (160 人)
合 計	48 事業 (22 事業)	73,850 人 (9,740 人)

【事業形態別の内訳】

方針	事業本数	入場参加者数
(ア) 上質で多彩な鑑賞事業 ・国内外の上質で多彩な芸術を鑑賞する機会の提供	13 事業	13,510 人
(イ) 誰もが参加できる県民参加型事業 ・県民がステージに立つことのできる場の提供	10 事業	49,760 人
(ウ) 関心・理解・親しみを深める教育普及事業 ・文化芸術の素晴らしさを体感し、さらなる興味を持ってもらう機会の提供	4 事業	1,500 人
(エ) ワークショップから公演まで様々なアウトリーチ事業 ・普段文化施設に來られない、あるいは生の文化芸術に触れる機会が少ない地域や学校等での公演実施	21 事業	9,080 人
合 計	48 事業	73,850 人

※ グランシップ企画事業を活用した人材育成 150 人、グランシップ企画事業総計 74,000 人

ア 子ども・子育て世代への支援 (26 事業、41,640 人) (★中高生鑑賞プラン対象、☆学生・こども設定)

(ア) 上質で多彩な鑑賞事業

	事業名	月 日	中高生鑑賞等	会 場	入場者数(人)	内 容
1	にっぽんこども劇場 ～講談わんだーらんど～	11/27(土)	☆	交流ホール	240	子供たちが日本の話芸の一つ「講談」に触れる公演 出演:宝井琴星、宝井琴鶴
2	グランシップ世界のこども劇場 2021 <WINTER>	1/15(土)～ 17(月・祝)	☆	大ホール	700	世界で活躍する劇団による 子ども向けの公演
3	にっぽんこども劇場 ～能楽わんだーらんど～	1/16(日)	☆	大ホール	100	「能楽」を通じて、日本の伝統芸能の 魅力を子供たちに伝える公演 出演:武田祥照他
計	3 事業				1,040	

(イ) 誰もが参加できる県民参加型事業

	事業名	月日	中高生鑑賞等	会場	入場者数(人)	内容
4	グランシップこどものくに	5/2(日) ～5(水・祝)	-	展示ギャラリー他	8,400	手作業や身体感覚を使って親子で楽しむ体験型イベント
5	グランシップトレインフェスタ 2021	5/15(土)、 16(日)	-	大ホール他	22,300	鉄道模型コーナーや駅弁販売等、家族で楽しめる日本最大級の鉄道イベント
6	冬のおくりもの	11/27(土)	-	大ホール他	1,000	クリスマスツリーの装飾や家族で楽しめるミニコンサートやワークショップ等のイベント
7	ねむの木学園のこどもたち コンサート～まり子おかあさんの 心とともに～	11/28(日)	-	中ホール	800	多様な価値観を表現し、尊重する環境づくりを目的としたコンサート 出演：ねむの木学園他
8	親子で楽しむ 浜響クリスマス コンサート ～お話と音楽による くるみ割り人形～	12/19(日)	☆	大ホール	1,000	県内のアマチュアオーケストラによる子ども向けクラシックコンサート 出演：浜松交響楽団他
計	5事業				33,500	

(ウ) 関心・理解・親しみを深める教育普及事業

	事業名	月日	中高生鑑賞等	会場	入場者数(人)	内容
9	登録アーティスト事業	5/2(日)他	-	芝生広場他	1,000	企画事業のサブイベントとしてのミニコンサート等
10	グランシップ文化講座(2回)	未定	★☆	未定	400	最先端の科学技術や社会問題等をテーマとした講座
計	2事業				1,400	

(エ) ワークショップから公演まで様々なアウトリーチ事業

	事業名	月日	中高生鑑賞等	会場	入場者数(人)	内容
11	【出前公演】 ウィーン風の～ウィーン木管五重奏団	10/14(木) ～15(金)	☆	浜松アクティビティ他	850	ウィーンを拠点に活躍する演奏家による県内の高校生対象のクリニックと合奏 出演：ウィーン木管五重奏団他
12	【出前公演】 中学生のためのオーケストラ (2公演)	1/28(金)	-	菊川文化会館 アエル	2,200	県内中学生を招待し上質なオーケストラ音楽を体験してもらおうクラシックコンサート 出演：京都市交響楽団他
13	【グランシップ子どもアート体験！】 登録アーティストアウトリーチ(5校)	6月～2月	-	小中学校、 特別支援学校等	200	グランシップ登録アーティストによる 少人数向けミニコンサート 講師：グランシップアウトリーチ登録アーティスト
14	【大学連携事業】 仲道郁代常葉連続レクチャー	未定	-	常葉大学	50	常葉大学と連携して実施する 音楽レクチャー 講師：仲道郁代
15	【出前公演関連事業】 スウェンガアウトリーチ(1校)	未定	-	未定	50	本公演に付随したアウトリーチ 出演：ハーモニカ・カルテット スウェンガ
16	【出前公演関連事業】 ロイヤル・コンセルトヘボウアウトリーチ(1校)	未定	-	未定	50	本公演に付随したアウトリーチ 出演：ロイヤル・コンセルトヘボウ管弦楽団 プラス・アンサンブル
17	【グランシップ子どもアート体験！】 人形浄瑠璃文楽出前講座(2校)	6/30(火)～ 7/1(水)	-		200	文楽協会の協力による文楽講座 講師：人形浄瑠璃文楽座
18	【グランシップ子どもアート体験！】 宝井馬琴監修講談教室(2校)	未定	-		200	本県出身の六代目宝井馬琴監修の 講談教室 講師：宝井琴星、宝井琴鶴
19	【グランシップ子どもアート体験！】 玉川奈々福の浪曲教室(2校)	未定	-	焼津市立焼津南 小学校他	120	小学生向けの浪曲教室 講師：玉川奈々福、曲師

	事業名	月日	中高生鑑賞等	会場	入場者数(人)	内容
20	【グランシップ子どもアート体験！】 狂言ワークショップ(2校)	未定	-	静岡市立清水船越小学校他	160	小学生向けの狂言教室 *伝統芸能普及プログラムの一環 講師:三宅右矩他
21	伝統芸能普及プログラム <大学連携>文楽レクチャー	未定	-	未定	50	大学等との連携による伝統芸能ワークショップ
22	伝統芸能普及プログラム <大学連携>浪曲レクチャー	未定	-	未定	30	
23	伝統芸能普及プログラム <大学連携>講談レクチャー	未定	-	未定	30	
24	伝統芸能普及プログラム 触れてみよう能楽師	10/8(金) 11/11(木)	-	掛川市生涯学習センター	1,550	高校生向けの能楽公演 *伝統芸能普及プログラムの一環 講師:長谷川晴彦他
25	詩人と語ろう! 言葉を語ろう!	未定	-	未定	40	しずおか連詩の会に連動した 詩人と交流するワークショップ 講師:野村喜和夫他
26	【グランシップ子どもアート体験！】 連詩をつくろう!ワークショップ(1校)	未定	-	下田市立浜崎小学校	120	しずおか連詩の会参加詩人による 連詩の創作ワークショップ 講師:野村喜和夫
計	16事業				5,900	

イ 音楽文化等の普及・振興 (12事業・12,885人、再掲…10事業・6,900人)

(★中高生鑑賞プラン対象、☆学生・こども設定)

(7) 上質で多彩な鑑賞事業

	事業名	月日	中高生鑑賞等	会場	入場者数(人)	内容
1	グランシップ プレミアム・クリスマス・ ジャズ・ライブ 小曽根真 Brazilian Christmas Jazz	12/10(金)	★☆	中ホール	840	ジャズ・ピアニスト小曽根真による ブラジリアンジャズをテーマにした公演 出演:小曽根真他
2	静岡ガス PRESENTS グランシップ&静響 ニューイヤーコンサート	1/7(金)	-	大ホール	2,200	地元プロオーケストラによる新春を祝う クラシックコンサート 出演:富士山静岡交響楽団
3	グランシップ リサイタル・シリーズ 小菅優	1/14(金)	★☆	中ホール	750	高度なテクニックと美しい音色、若々しい 感性と深い楽曲理解で最も注目されて いるピアニストによるリサイタル公演 出演:小菅優
4	【再掲】 グランシップ世界のこども劇場 2021 <WINTER>	1/15(土) ~ 17(月・祝)	☆	大ホール他	(700)	世界で活躍する劇団による 子ども向けの公演
5	グランシップ ヴァレンタイン・ジャズ・ライブ akiko	2/11 (金・祝)	★☆	交流ホール	330	多彩な活動を展開するジャズシンガー・ akiko によるジャズライブ 出演:akiko 他
6	NHK 交響楽団×野平一郎 プロジェクト シリーズⅢ	3/6(日)	★☆	中ホール	650	NHK 交響楽団と野平一郎氏の コラボコンサートの完結編 出演:NHK 交響楽団他
7	本と音楽の素敵な出会い 「羊と鋼の森」	3/18(金)	★☆	中ホール	600	本屋大賞受賞のベストセラー小説を 題材としたトークと演奏、文学と音楽の クロスオーバー公演 出演:宮下奈都、福岡洸太郎他
計	6事業(再掲…1事業)				5,370 (700)	

(イ) 誰もが参加できる県民参加型事業

	事業名	月日	中高生鑑賞等	会場	入場者数(人)	内容
8	グランシップ音楽の広場 2021	8/1(日)	★☆	大ホール	3,835	本県ゆかりのアマチュア奏者をメインと した県民参加型コンサート 指揮:広上淳一

	事業名	月日	中高生鑑賞等	会場	入場者数(人)	内容
9	グランシップ ビックバンド・ジャズ・フェスティバル 2021	8/15(日)	-	大ホール	1,300	アマチュアビックバンドによるジャズ・フェスティバル
10	【再掲】 ねむの木学園のこどもたち コンサート	11/28(日)	-	中ホール	(800)	多様な価値観を表現し、尊重する 環境づくりを目的としたコンサート 出演：ねむの木学園他
11	【再掲】 親子で楽しむ 浜響クリスマス コンサート	12/19(日)	☆	大ホール	(1,000)	県内のアマチュアオーケストラによる子ども 向けクラシックコンサート 出演：浜松交響楽団他
計	2事業(再掲…2事業)				5,135 (1,800)	

(ウ) 関心・理解・親しみを深める教育普及事業

	事業名	月日	中高生鑑賞等	会場	入場者数(人)	内容
12	【再掲】 登録アーティスト事業	5/2(日)他	-	芝生広場他	(1,000)	企画事業のサブイベントとしての ミニコンサート等
13	NHK 交響楽団×野平一郎 プロジェクト シリーズⅢ 事前レクチャー 野平一郎のオーケストラ塾	1/10(月・祝)	☆	リハーサル室	100	本公演をより楽しむための事前 レクチャー 講師：野平一郎
計	1事業(再掲…1事業)				100 (1,000)	

(エ) ワークショップから公演まで様々なアウトリーチ事業

	事業名	月日	中高生鑑賞等	会場	入場者数(人)	内容
14	【再掲】【出前公演】 ウィーンの名〜ウィーン木管5重奏団	10/14(木) ～15(金)	☆	浜松アクティビティ他	(850)	ウィーンを拠点に活躍する演奏家による 県内の高校生対象のクリニックと合奏 出演：ウィーン木管5重奏団他
15	【出前公演】 フィンランド発 驚異のハーモニカ・ カルテット スヴェング	11/23 (火・祝)	★☆	袋井市月見の 里学遊館	380	様々な種類のハーモニカで、クラックや タンゴ、日本の童謡等を演奏 出演：ハーモニカカルテット スヴェング
16	【出前公演】ロイヤルコンサートヘボウ 管弦楽団 プラス・アンサンブル	11/25(木)	★☆	沼津市民文化 センター	900	世界三大オーケストラの一つに数えられ る楽団の金管奏者 11人による公演 出演：ロイヤル・コンサートヘボウ管弦楽団 プラス・アンサンブル
17	【再掲】【出前公演】 中学生のためのオーケストラ (2公演)	1/28(金)	-	菊川文化会館 アエル	(2,200)	県内中学生を招待し上質なオーケストラ 音楽を体験してもらうクラシックコンサート 出演：京都市交響楽団他
18	【出前公演】京都市交響楽団 名曲コンサート	1/29(土)	★☆	菊川文化会館 アエル	1,000	国内有数のプロオーケストラによる名曲 コンサート 出演：京都市交響楽団他
19	【再掲】 【グランシップ子どもアート体験！】 登録アーティストアウトリーチ(5校)	6月～2月	-	小中学校、 特別支援学校 等	(200)	グランシップ登録アーティストによる 少人数向けミニコンサート 講師：グランシップアウトリーチ登録アーティスト
20	【再掲】 仲道郁代常葉連続レクチャー	未定	-	常葉大学	(50)	常葉大学と連携して実施する 音楽レクチャー 講師：仲道郁代
21	【再掲】 スヴェングアウトリーチ (1校)	未定	-	未定	(50)	本公演に付随したアウトリーチ 出演：ハーモニカ・カルテット スヴェング
22	【再掲】 ロイヤル・コンサートヘボウアウトリーチ (1校)	未定	-	未定	(50)	本公演に付随したアウトリーチ 出演：ロイヤル・コンサートヘボウ管弦楽団 プラス・アンサンブル
計	3事業(再掲…6事業)				2,280 (3,400)	

ウ 伝統芸能の継承（5事業・3,000人、再掲…10事業・2,680人）

（★中高生鑑賞対象、☆学生・子ども設定）

(7) 上質で多彩な鑑賞事業

	事業名	月日	中高生鑑賞等	会場	入場者数(人)	内容
1	人形浄瑠璃 文楽(2公演)	10/10(日)	★☆	中ホール	1,100	文楽協会による人形浄瑠璃公演 出演:人形浄瑠璃文楽座 演目:一谷嫩軍記他
2	【再掲】につぼん子ども劇場 ～講談わんだーらんど～	11/27(土)	☆	交流ホール	(240)	子供たちが日本の話芸の一つ「講談」に触れる公演 出演:宝井琴星、宝井琴鶴
3	【再掲】につぼん子ども劇場 ～能楽わんだーらんど～	1/16(日)	☆	大ホール	(100)	「能楽」を通じて、日本の伝統芸能の魅力を子供たちに伝える 出演:武田祥照他
4	グランシップ静岡能	1/22(土)	★☆	中ホール	700	本格的な能楽公演 出演:宝生流能楽師
5	グランシップ寄席	3/13(日)	★☆	交流ホール	300	季節やテーマを設定した良質な話芸 出演:三遊亭圓歌、柳家三三
計	3事業(再掲…2事業)				2,100 (340)	

(4) 誰もが参加できる県民参加型事業

該当なし

(5) 関心・理解・親しみを深める教育普及事業

	事業名	月日	中高生鑑賞等	会場	入場者数(人)	内容
6	雛の宴 ～五人囃子のひなまつり～	2/19(土)	★☆	交流ホール	200	能楽の囃子方による能楽公演
計	1事業				200	

(E) ワークショップから公演まで様々なアウトリーチ事業

	事業名	月日	中高生鑑賞等	会場	入場者数(人)	内容
7	【出前公演】グランシップ 静岡能 能楽入門公演	9/11(土)	★	御殿場市民会館	700	初心者向けの能楽公演 出演:観世流能楽師
8	【再掲】 【グランシップ子どもアート体験！】 人形浄瑠璃文楽出前講座(2校)	6/30(火)～ 7/1(水)	-		(200)	文楽協会の協力による文楽講座 講師:人形浄瑠璃文楽座
9	【再掲】 【グランシップ子どもアート体験！】 宝井馬琴監修講談教室(2校)	未定	-		(200)	本県出身の六代目宝井馬琴監修の 講談教室 講師:宝井琴星、宝井琴鶴
10	【再掲】 【グランシップ子どもアート体験！】 玉川奈々福の浪曲教室(2校)	未定	-	焼津市立焼津南小学校他	(120)	小学生向けの浪曲教室 講師:玉川奈々福、曲師
11	【再掲】 【グランシップ子どもアート体験！】 狂言ワークショップ(2校)	未定	-	静岡市立清水船越小学校他	(160)	小学生向けの狂言教室 *伝統芸能普及プログラムの一環 講師:三宅右矩他
12	【再掲】 伝統芸能普及プログラム <大学連携>文楽レクチャー	未定	-	未定	(50)	大学等との連携による伝統芸能 ワークショップ
13	【再掲】 伝統芸能普及プログラム <大学連携>浪曲レクチャー	未定	-	未定	(30)	

	事業名	月日	中高生鑑賞等	会場	入場者数(人)	内容
14	【再掲】 伝統芸能普及プログラム ＜大学連携＞講談レクチャー	未定	-	未定	(30)	
15	【再掲】 伝統芸能普及プログラム 触れてみよう能楽師	10/8(金) 11/11(木)	-	掛川市生涯 学習センター	(1,550)	高校生向けの能楽公演 *伝統芸能普及プログラムの一環 講師:長谷川晴彦他
計	1事業(再掲…8事業)				700 (2,340)	

エ 文芸・美術等の振興 (5事業・16,325人、再掲…2事業・160人)

(★中高生鑑賞プログラム対象、☆学生・子ども設定)

(ア) 上質で多彩な鑑賞事業

	事業名	月日	中高生鑑賞等	会場	入場者数(人)	内容
1	写真家・大竹省二展	7/28(水) ～ 8/22(日)	☆	展示ギャラリー	5,000	本県出身の写真家である大竹省二氏の初めての回顧展
計	1事業				5,000	

(イ) 誰もが参加できる県民参加型事業

	事業名	月日	中高生鑑賞等	会場	入場者数(人)	内容
2	グランシップ誰もがWonderfulアート	8/28(土) ～9/12(日)	-	展示ギャラリー	1,500	表現や個性を認め合うことを目的とした展示 福井揚、止揚学園、成実憲一の作品
3	高松宮妃のおひなさま展	2/11(金・祝) ～3/6(日)	-	展示ギャラリー	9,215	静岡県所蔵の高松宮妃ゆかりのおひなさまの展示
4	ふじのくに芸術祭春の祭典 「授賞式」総開会式	2/20(日)	-	中ホール	210	ふじのくに芸術祭のメインイベントである春の祭典授賞式・開会式(県との共催)
計	3事業				10,925	

(ウ) 関心・理解・親しみを深める教育普及事業

該当なし

(エ) ワークショップから公演まで様々なアウトリーチ事業

	事業名	月日	中高生鑑賞等	会場	入場者数(人)	内容
5	【出前公演】 2021年しずおか連詩の会 In 浜松	12/12(日)	★	アクトシティ浜松	200	本県出身の詩人・大岡信氏が提唱した連詩の創作と発表 出演:野村喜和夫他
6	【再掲】 詩人と語ろう! 言葉を語ろう!	未定	-	未定	(40)	しずおか連詩の会に連動した詩人と交流するワークショップ 講師:野村喜和夫他
7	【再掲】 【グランシップ子どもアート体験!】 連詩をつくろう!ワークショップ(1校)	未定	-	下田市立浜崎 小学校	(120)	しずおか連詩の会参加詩人による連詩の創作ワークショップ 講師:野村喜和夫
計	1事業(再掲…2事業)				200 (160)	

オ 新たなグランシップファン獲得のための取り組み

(ア) 広報・宣伝の展開

広報対象に合わせた実施計画を立てるとともに、販売状況に即応した広報媒体を活用した広報・宣伝を展開する。

(イ) 若い世代等の取り込み

若年層への情報発信ツールとしてSNSをはじめとしたWEBを活用し、当館の事業に関心を持ってもらい、新たな鑑賞者層の獲得に取り組む。

(ウ) 中高生等への鑑賞支援策

子どものうちから上質で多彩な文化芸術に身近に触れる機会を提供するため、引き続き、各公演の学生チケット料金（28歳以下の大学生、子ども）を原則1,000円で設定する。

また、中学校、高校の学校行事や部活動等の課外活動による鑑賞の場合には、チケット料金を800円に割り引くとともに、中高生芸術鑑賞交通費支援制度により交通費を支援する。

さらに、高校生については、全県高校生を対象とした「高校生アトラリー事業」により、県下の劇場ホールでの鑑賞機会の増加を図る。

(エ) 県外への広報

オリジナルで静岡県を代表する事業を県内外でPRし、事業の認知度を高める。

カ グランシップ企画事業を活用した人材育成

県内の公立文化施設職員の資質向上や交流を促進し、地域の文化活動団体、アウトリーチに係る教育関係者、福祉関係者、文化行政関係者とのネットワークを強化するため、「静岡県公立ホール連携支援研修事業」や大学生を対象としたインターンシップを実施する。

また、グランシップアウトリーチ登録アーティストの実演の機会を提供するため、引き続き、県内公立文化施設と連携した音楽アウトリーチなどに取り組む。なお、制度の見直しを進め、登録アーティストの新規登録を開始する。

	公立ホール連携支援研修	企画事業インターンシップ
対 象	県内の公立文化施設職員	大学生
期 間	令和3年6月～12月	令和3年6月～令和4年1月
募集人員	10人程度	25人

※ 両事業の延べ参加者数：150人

(2) その他の文化事業

ア 文化活動団体の顕彰等

新たな地域文化の創造を目指す多彩で優れた文化活動団体に対し、その活動を拡大していくことを支援するため顕彰を行う。

	内 容
募集期間	令和3年8月～9月
対 象	地域文化を育て、文化の香り高い郷土づくりに貢献し、県内に活動の本拠を置く文化団体
賞	地域文化活動賞 1件 賞状、賞金10万円、楯 地域文化活動奨励賞 若干 賞状、賞金2万円、楯 地域文化活動努力賞 若干 賞状、賞金1万円、楯

イ 文化プログラムに対する取り組み

(ア) 関係機関と連携した文化プログラム

静岡県文化プログラム推進委員会と連携し、県域プログラム「ふじのくに伝統芸能フェスティバル」（6月6日、長泉町文化会館^{ベルフォレ}）を実施する。

(イ) 文化カプロジェクト環境整備事業

・ ふじのくに文化プログラム推進事業助成

県内の多彩な文化芸術活動や「ささえる」活動を県内外に発信するために取り組んできた助成事業のうち、団体補助は最終年度として助成する。

項目	内 容	
メニュー	団体補助	
	「ささえる」活動団体の自立に向けた活動	しずおかの文化芸術団体のステップアップ活動
補助対象事業・活動	「ささえる」活動を主たる目的としている団体の組織の自立に繋がる投資的な活動	舞台芸術をはじめとする文化活動の分野において、静岡県を代表する文化芸術団体の育成に繋がる投資的な活動
補助対象者	「ささえる」活動団体	文化活動団体
補助期間	複数年度(原則3年、5年が限度)	
補助額	当初：上限30万円、翌年度以降通減 最終年度：上限15万円	

・ 本県の魅力掘り起こしと発信に係る事業

県内の文化資源の存在や価値を再発見し、県民の共有財産として後世に伝えていくため、書籍「しずおかの文化」を制作、配布する。

・ 次世代を担う中高生が文化芸術に触れる機会を創出する事業

次世代を担う県内の中高生に、上質で多彩な文化芸術に触れてもらう機会を創出するため、他館での出前公演も含めて、グランシップ企画事業の鑑賞に要する交通費を全額支援する。

ウ 県委託・補助事業

財団が文化支援事業やグランシップ企画事業で培ってきたノウハウを活かして、引き続き、「子どもが文化と出会う機会創出事業」「ふじのくに#エールアートプロジェクト事業助成金」を実施する。

子どもが文化と出会う機会創出事業	ふじのくに#エールアートプロジェクト事業助成
県内プロオーケストラによる ・ 地域訪問プログラム ・ 未就学児対象コンサート	令和2年度2次募集として交付決定した事業への助成 ・ 助成対象期間 R3.2.1~9.5

2 アーツカウンシルしずおか

文化芸術の力を活用して地域社会の活性化を目指す県民主体の活動を支援し、創造的で感性豊かな地域社会の形成を促進するため「アーツカウンシルしずおか」を設置し、アーツカウンシル運営事業として令和3年度から本格的な活動を開始する。

(1) 創造的な活動への支援事業

社会の幅広い分野の担い手による地域の活性化や社会課題への対応等を目指した創造的な取組に対する支援を、活動助成という形で実施する。また、プログラム・ディレクター及びプログラム・コーディネーターといった専門職員（以下「専門職員」という。）を配置し、助成団体の活動に対する助言や他分野との連携等の支援を行う。

・文化芸術による地域振興事業助成

創造的で感性豊かな地域社会の形成を促進するため、静岡県内に拠点を置くまちづくりや観光、国際交流、福祉、教育、産業など社会の幅広い分野の民間団体・グループ(法人格の有無は問わない。)が行う地域資源の活用や社会課題への対応を目指す創造的なプログラムに対して助成する。

助成の対象			助成金額 上限	助成率
事業の区分	対 象	助成対象経費		
地域はばたき 支援	地域資源の活用や社会課題への対応を目指す先駆的な取組で、他地域や当該分野のモデルとして県内外に発信するプログラム	報償費、制作費、委託費、会場費、運搬費、賃金・社会保険料、旅費、通信費、著作権料、広告・印刷費、消耗品費	5,000千円	助成対象経費の4分の3以内又は2分の1以内 ^{※2}
地域かがやき 支援	地域資源の活用や社会課題への対応を目指す先駆的なプログラム		2,000千円	
地域はじまり 支援	地域資源の活用や社会課題への対応を目指す先駆的なプログラムの実施に向けた試行的な取組		300千円	助成算定経費 ^{※1} の10分の10

※1 助成事業の実施に要する経費から補助金、負担金、その他の収入（自己資金を除く）を控除した額のうち助成対象経費に該当する経費

※2 助成率上限

	プログラムの実施者	助成率上限
ア	非営利の民間団体・グループ (市町の外郭団体、公立文化施設の指定管理者、学校、公益法人、市町が加わる実行委員会等は除く。)	4分の3以内
イ	上記ア以外の団体・グループ (企業、市町の外郭団体、公立文化施設の指定管理者、学校、公益法人、市町が加わる実行委員会等)	2分の1以内

(2) パイロット事業

- ・経済活動との連携を図り、ブランド化へ寄与するため、関係者との調整を図り、パイロット事業を企画・実施する。

(3) 人材育成・ネットワーク化事業

- ・創造的な活動の担い手や、担い手を目指す人材、様々な分野との連携を目指す芸術家等を対象に、セミナーや研修、相談対応等を行う。
- ・企業、団体、市町等との連携を図り、文化芸術分野に留まらない社会の幅広い分野とのネットワークづくりを進める。

(4) 調査研究、県・市町・文化団体等への助言、政策提言

- ・地域の文化資源、文化活動、活動団体、アーティスト、メセナ活動、国内外の先進事例等の調査研究、データベース化等を行う。
- ・県、市町、文化団体等からの求めに応じ助言等を行うとともに、調査研究の結果等を踏まえた政策提言等の準備を行う。

3 グランシップ管理運営事業

グランシップの貸館事業は、心豊かな県民生活及び活力ある地域社会の実現に寄与することを目的とし、「学術・文化芸術活動の場を提供」と「国内外との交流促進を図る活動の支援」の二つを柱として事業を推進することで、県民による文化芸術の創造並びに参加活動を積極的に支援する。

グランシップの施設管理は、利用者に対して安全、安心で快適な施設環境を提供するため、効率的かつ効果的な施設の維持管理等を実施する。

(1) グランシップの貸館事業

ア 学術・文化芸術活動の場を提供

- ・県民が学術・文化芸術を創造し、発信する場を提供することにより、心豊かな県民生活の実現に寄与する。
- ・県民の行う事業が、よりよい形で実現されるよう、施設利用者の立場に立った提案やアドバイスをを行い、県民の学術・文化芸術活動を側面から支援する。
- ・施設利用者相互や施設利用者との交流の機会を創出し発展させるため、より多くの県民が学術・文化芸術活動に参加できる場、地域コミュニティが活性化できる場を提供する。

イ 国内外との交流促進を図る活動の支援

- ・県民が集い、人々に感動と希望をもたらし、創造性を育み、共に生きる絆を形成するための静岡県の文化拠点として、グランシップをPRする。
- ・国内外との交流を促して静岡県の魅力を発信することにより、文化に関連した様々な産業を育み、活力ある地域経済の実現を促進する。
- ・全国はもとより、海外からも様々な人々が来館する大規模学会等の誘致を通じ、来館した方々に静岡県の魅力を発信して、静岡県と国内外との交流促進に寄与する。
- ・催事の誘致にあたっては、コンベンションビューローや教育機関、医療機関等の学会関係者と積極的に連携を図る。
- ・静岡県や各関係団体の主催する事業を積極的に誘致することにより、県との協働を推進し、県の施策の一翼を担うことで県有施設としての責務を果たす。
- ・WEB会議や講演のデジタル配信など、新しいスタイルの企業活動への対応能力を強化して企業による利用を促進する。

ウ 具体的な施策

(7) 積極的な営業活動

- ・ 県民の創造活動の場としてより活用されるよう、貸館催事期間外予約制度を活用するなどして、グランシップの公益目的催事であるところの、県内の文化芸術団体や大学等が主催する学術・文化芸術催事を積極的に誘致する。
- ・ 10月1日の全館リニューアルオープンに向け、長期休館後の貸館利用者を拡大するため、リピーターを中心とした顧客に対し、効果的・効率的な広報並びに営業活動を実施するとともに、県内マスメディアやプロモーターに対しても積極的な情報提供や営業活動を実施する。
- ・ 静岡県や各関係団体の主催する事業を積極的に誘致することにより、県との協働を推進してゆくとともに、安定した継続利用者の獲得を図る。

(4) 大規模催事の誘致

- ・ 静岡県や県内他施設及び各コンベンションビューローと積極的に連携して営業広報活動を行うことにより大規模催事を誘致し、地域経済全体の活性化を図る。
- ・ 過去にグランシップで国際大会・国内大会を実施した主催者・団体やコンベンション企画運営事業者（PCO）などに対し、定期的な情報収集や営業活動を行って再利用に繋げる。
- ・ 今後は、大規模催事開催方法も新しい生活様式に対応したものになると予想されることから、誘致に当たっては、その点を踏まえた営業広報活動を行う。

(5) 利用者サービスの一層の向上

- ・ オンライン講演会やWEB会議の実施など、新しい生活様式に対応した企業活動が始まっている。それに対応した環境やサービスの提供を検討する。
- ・ 催事開催支援サービス（ワンストップサービス）については、開始以来、年々利用が増加しているが、新しい生活様式に対応したサービスの実施など、提携事業者と連携して内容を検討し、制度の拡充を図る。
- ・ 利用者の声を施設運営に反映させるための利用者会議については、新しい生活様式に見合った開催方法に変更し、引き続き、利用者ニーズへの的確な対応に努める。

(2) グランシップの施設管理

ア 安全・安心・快適な施設管理

- ・ 県や施設管理、警備、清掃、舞台技術の委託業者と連携して適切な管理・運営を図り、県が策定した中期維持保全計画と連携した、計画的な設備更新の実施、故障個所の迅速な修繕に努める。
- ・ 社会のデジタル化に対応するため、通信設備の更新を県と連携して推進する。
- ・ 常に来館者の目線での施設管理に努め、防災訓練等においては、子どもや高齢者、障がいのある方など様々な来館者の避難を想定した研修を実施する。
- ・ コロナウイルス感染予防対策については、国や県等関係機関の情報を積極的に収集し、適宜適正に対応する。

イ 持続可能な社会活動を目指した施設運営

- ・ 電気・ガス使用を最適化し、環境負荷低減とコスト削減を実現する消費エネルギーの管理を図る。
- ・ 持続可能な開発目標（SDGs）への取り組みとして、省エネルギーを推進し環境に与える負荷を低減するため、エネルギー管理員の主導による効率的なエネルギー運用に取り組む。

ウ 賑わい創出

- ・文化芸術の発表の場として施設を活用し、施設利用者に文化芸術を身近に感じてもらう場を創出するため、主に県内在住の芸術家の協力を得て、ショーウィンドを中心に館内共有スペースにアート作品を展示する。

(3) サポート組織

文化振興に関心があり、文化活動に積極的な県民の自主的な参加・参画を得て、グランシップの円滑な事業運営を図る。

(令和3年4月1日見込)

業務区分	内 容	登録者数
広 報	ダイレクトメール発送、広報勉強会、来館者見学案内等	76 人
イ ベ ント	受付、もぎり、資料配布、会場案内、避難誘導等	52 人
撮 影	イベント・公演時の記録撮影、記録写真の整理等	15 人
託 児	公演時の託児サービス等	8 人
計	※兼務含む	151 人

(4) 危機管理とリスクマネジメント

「火災・地震・風水害等の災害が発生した際の対応」を危機管理、また「前記以外の事故・故障・苦情・不審物等のリスクへの対応」をリスクマネジメントと定義し、それぞれの体制を確立して、来館者の安心・安全と信頼の確保に努める。

ア 危機管理

- ・発災時の迅速な初動態勢の確立と発災後の迅速な事業継続を図るため、毎営業日に自衛消防隊の編成確認を実施する。
- ・南海トラフ地震や風水害などの不測の事態にも対応できるよう、消防計画に基づく定期的な防災訓練を実施する。

イ リスクマネジメント

- ・設備等の故障による機器類の停止等のリスク回避・低減のため、消耗品の事前交換など適切な維持管理を行う。
- ・施設及び設備の異常・故障発生時には、来館者への影響を最小限とするため、適切な応急措置や修繕を直ちに講じ、財団で実施できない大規模な修理・修繕については、県へ迅速に報告・指示を受け対応する。
- ・新型コロナウイルス感染予防対策として、エントランス及び通用口へのサーモグラフィーカメラの設置、各階ロビー等への室内専用オゾン発生装置の設置を継続するとともに、国や県等関係機関の情報を積極的に収集し、迅速かつ適切に対応する。

4 グランシップ友の会

(1) 個人会員

会員1万1千人余への催事情報の提供やチケット斡旋などサービスの向上を図り、一層の会員拡大に努める。また、長期間利用がない会員などの状況確認を行うなど会員の維持管理にも注力する。

(2) 法人会員

グランシップに対する理解度を深めてもらうため、各法人会員に担当を割り振り、定期的な訪問活動に取り組む。

5 文化財団法人運営

(1) 経営の安定化

ア 安定的な収入の確保

- ・チケットの販売促進や積極的な営業活動、関係機関と連携した大規模催事の誘致、催事開催支援サービスの利用者増による収入の確保のほか、国庫補助金等を活用するため積極的に申請を行う。

イ 効率的・効果的な運営体制の構築

- ・毎月末に執行調整会議を開催し、月次収支状況を確認するとともに、上半期終了時に中間決算を実施し、常に財団の財務状況を把握する。
- ・グランシップの第5期指定管理事業計画の策定に当たっては、有効に施設を運営・維持するため、維持管理費や間接経費（人件費等）のコストについてゼロベースで見直し、負担の在り方を施設設置者である県とも協議する。
- ・当館利用者以外の駐車場利用の促進を図るため、駐車場 24 時間営業と利用料金の上限制度を継続し、利便性を高める。

ウ 高い資質を有する人材の育成

- ・静岡県文化財団中期構想で目指す財団の使命を達成するため、長期的視野に立った人材育成を進めていく。
- ・職員研修を体系的に整理し、年間計画に沿って実施するものとし、実施に当たっては、個々の職員が自己プロデュースを行えるよう能力を養い、職員相互の意識共有の醸成を図る方法を研究・導入するとともに、外部講師の活用を図る。
- ・財団内で積極的に業務に取り組んでいる職員に対して、自ら自己研鑽の特別研修を企画し、財団が費用の支援を行う特別研修制度を継続実施する。

研 修 名	回数	内 容
月 例 職 員 研 修	11 回/年	・ハラスメント研修、・アンガーマネジメント研修 ・スケジュール管理に関する研修、・メンタルヘルス研修 ・キャリアコンサルタントによる研修 ・ガバナンス、コンプライアンス研修 ・職員間コミュニケーションを深めるワークショップ 等
新規採用職員研修①	1 回/年	・ビジネスマナーの基本等
新規採用職員研修②	1 回/年	・採用約半年後のフォロー研修

エ 効果的な広報

- ・財団全体の広報戦略を示した上で、財団、グランシップ企画事業、県委託事業等及び貸館事業の広報・宣伝計画を策定するとともに、毎月 1 回、広報調整会議を開催し、効率的・効果的な情報発信に取り組む。
- ・一方的な広報・宣伝だけでなく、県民や利用者の声を広く集め、運営に反映させるため、アンケートやモニター制度などによりニーズの把握に努める。
- ・既存の媒体とインターネット等を利用した新たな媒体を効率的・効果的に組み合わせながら、若い世代から高齢者まで、様々な世代に合わせた広報・宣伝に取り組む。

(3) 新しい社会環境での働き方

ア 新たな働き方の導入と勤務制度の構築

- ・ 事業を企画運営する職員は、時期により繁忙期等の波が多くあるため、年間を通じて事業に応じて調整する勤務制度を検討する。
- ・ 労働安全衛生法に基づく職員の定期健康診断の実施や人間ドック受診費用の負担、ストレスチェックを実施する。
- ・ 職員数の増加に対応するため、総務課職員の衛生管理者資格の取得等を進める。

イ 新たな給与制度の導入

- ・ 新たな勤務制度の導入に合わせて、年俸制などの給与制度と業務評価制度の導入を検討する。